

発行：東京電機大学経営同友会 編集：企画運営委員会（委員長 市川信行）
〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番（東京電機大学研究推進社会連携センター内）
TEL:03 (5284) 5261 FAX:03 (5284) 5242
E-mail: doyukai@jim.dendai.ac.jp Webサイト: https://www.tdu-ma.jp/



副会長あいさつ



東京電機大学経営同友会
副会長 齋藤 博之

今年度より副会長として経営同友会に参加させていただきました齋藤博之です。東京電機大学研究推進社会連携センター長を務めるとともに、工学部機械工学科にて研究・教育に携わっております。

さて、2019年より猛威をふるった新型コロナウイルス感染症は今年度、すなわち2023年度の5月よりやっと5類感染症扱いとなり、大学での講義・実験・実習なども以前の状態に戻ってまいりました。

このような状況から、経営同友会と大学が連携しております特別講演会は、同時に大学院の科目としても開講され、経営同友会の皆様と後輩にあたる大学院生が同じ場を共有して触れ合うことができるようになっております。大学院生にとっては先輩との交流で社会の一端にふれ、しかも報告書提出は必須であるものの単位の取得にもつながり、いろいろな意味で勉強になっていると感じます。

このような事例をはじめ、経営同友会と大学が今後ともますます活発に活動していけるよう祈念申し上げて挨拶とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

令和5年度の主な活動

- 総 会 …… 令和5年5月25日に学外会場(東京ガーデンパレス、東京都文京区)で開催。
- 新春交歓会 …… 令和6年2月7日に学外会場にて開催。
- 役員 会 …… 役員会を4回開催 (第75回：令和5年4月27日、第76回：令和5年9月14日、第77回：令和5年12月7日、第78回：令和6年3月6日)。
- 総務委員会 …… 令和5年10月1日に令和5年度版会員名簿を発行。
当会ホームページのサーバー更新、ホームページ乗り換え作業を完了。
法人会員の扱い他について会則改定案を役員会に起案。
- 事業推進委員会 …… 会員相互の交流事業として、令和5年10月19日、20日に第1回研修交流会を開催し、東京電力柏崎刈羽原発を視察。
令和5年11月3日、4日に開催された第12回旭祭に出展。
- BSC委員会 …… 令和6年4月23日に開催予定の「学生向けBSCセミナー」について打合せを実施。
- 企画運営委員会 …… 令和5年11月16日に会報掲載内容、第59回特別講演会準備について打合せを実施。
「会報」第4号の編集会議を開催し、令和6年3月31日に発行(本紙)。
- 特別講演会 …… 第57回、第58回特別講演会を対面形式で開催。

第 1 回 研修 交流会 を 開催

事業推進委員会の企画として、令和 5 年 10 月 19 日~20 日で 1 泊の研修交流会を行ないました。

現在運転停止中ですが、国内の原子力発電所では最大規模を誇る柏崎刈羽原子力発電所の現状を視察しました。通常の見学はサービスホール施設の案内や専用バスで構内を巡回するだけですが、東京電力のご厚意により特別に発電所内まで案内いただきました。

第 1 日目の朝 9 時に電大千住キャンパス 2 号館に集合し、大型バスを貸切り、女性会員を含む 12 名でゆったりと出発。昼食は創業 120 年の小千谷蕎麦をいただき、その後日本三大渓谷で有名な清津峡を散策しました。夕方に宿泊地である新潟県十日町の当間高原リゾート「ベルナティオ」に到着しました。温泉で日頃の疲れを癒したり、懇親会で地酒を堪能したり、翌日の予定など気にせず大いに盛り上がりました。

第 2 日目はホテルを 8 時に出発し、9 時 30 分より柏崎刈羽原子力発電所の特別見学コースを受講しました。重要施設への入構のため、事前に提出している身分証明書の確認やスマホ、カメラなどの預け入れなど注意事項の入念な説明を受け、視察中は、施設の区画ごとにセキュリティチェックを何度も受けました。東日本大震災による原発事故の反省から、あらゆる対策がなされていることが、今回の視察で確認することができました。

本研修では、発電所側の受け入れの都合で研修日程に制約があり、多数の参加者の希望に添えなかったこととお詫びいたします。 (事業推進委員会)



第 12 回 旭 祭 へ の 出 展

令和 5 年 11 月 3 日(金)~4 日(土)、5 号館 3 階 5302 室にて、会社案内、製品カタログ、パネル等を用いた会員企業の紹介を行い、2 日間で、501 名が経営同友会のブースに来場されました。

出展の様子は経営同友会の Facebook にも掲載しています。

(事業推進委員会)

【出展企業】

アストロデザイン(株)、エクシオグループ(株)、岡上功コレクション、川北電気工業(株)、(株)九電工、(株)京三製作所、協同電子エンジニアリング(株)、CKD 日機電装(株)、志幸技研工業(株)、システム情報(株)、(株)大気社、(株)辰巳菱機、田村総業(株)、(株)トブコン、中野電子工業(株)、(株)ナテック、能美防災(株)、平河ヒューテック(株)、ベル・テック(株)、(株)明電舎他

新規会員企業: レボックス(株)、浜井電球工業(株)

(計 58 社のパネルを展示)



●東京電機大学経営同友会 Facebook

<https://www.facebook.com/groups/740282926891966>

QR コードはこちら ⇒



令和5年度特別講演会

令和5年度は2回の特別講演会を開催しました。令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行されたことに伴い、対面とZoomによるハイブリッド形式から、今年度からコロナ禍前の対面形式に戻し、丹羽ホールで開催しました。

直接講師の話をお聞きすることで、より臨場感のある講演会になりました。

2回の講演のうち、1回は外部講師によるもの、もう1回は学内の先生に講師をお願いし、今後急速な発展が予想される通信事業における現状と未来や、鉄道インフラの安全性の観点から研究内容を紹介いただき、大変興味深くお聞きいただけたと思います。
(企画運営委員会)

【第57回特別講演会】令和5年7月6日(木)開催

講師は、ソフトバンク(株) 常務執行役員 兼 CNO テクノロジーユニット統括付の関和智弘氏をお願いし、「ケイタイの進化の先にひろがる超デジタル化社会の到来」と題した講演をいただきました。

関和氏は東京電機大学工学第一部電気通信工学科を卒業後、デジタル交換システムの開発に従事され、いくつかの通信事業会社で第二世代(2G)～第五世代(5G)の携帯電話システムの開発、全国展開に従事されてきました。

講演会では、社会インフラとしての重要度を増す携帯電話ネットワークについて、5Gを中心にその進化を振り返るとともに、通信事業者における信頼性対策を解説いただき、今後さらに進化した携帯電話ネットワークによって実現される、近未来の超デジタル化社会を通信事業者の視点から紹介いただきました。
(参加者：67名)



関和 智弘 氏



【第58回特別講演会】令和5年11月16日(木)開催

講師は、東京電機大学工学部電気電子工学科准教授(工学博士)の渡邊翔一郎氏をお願いし、「大学での”学び”と交通電気工学への誘い」と題した講演をいただきました。

渡邊氏は東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻博士課程修了し、現在は東京電機大学工学部電気電子工学科の准教授として教鞭をとられています。

講演会では、大学での学びで多くの知識を涵養することも重要性と、問題を新たに発見して答えを導くまでの過程である”学問”を知る醍醐味について、渡邊氏自身のこれまでのキャリアを紹介いただいたとともに、”学問”としての交通電気工学、特に電気鉄道の研究内容を解説していただきました。
(参加者：68名)



渡邊 翔一郎 氏



新春交歓会を開催

令和6年2月7日(水)に、昨年に引き続き、会員の皆様が会する形で新春交歓会を以下のとおり開催しました。

●日時：令和6(2024)年2月7日(水) 17:30～

●場所：東京ガーデンパレス3階「平安」(東京都文京区湯島1-7-5)

昨年度3年ぶりに開催した「新春交歓会」を今年度も開催し、学校法人東京電機大学の石塚理事長、東京電機大学の射場本学長、一般社団法人東京電機大学校友会の上西理事長をはじめ、総勢39名の会員に参加いただきました。

渡辺会長、ご来賓からご挨拶があり、そのあと新規入会者(9名)の紹介が行われ、出席された3名の方に挨拶いただきました。

東京電機大学学生支援センター五十嵐センター長の乾杯のご発声の後、食事をしながら会員相互の交流が行われました。新春交歓会を今年も継続開催できた喜びとともに、様々な話題が各所で交わされていました。



東京電機大学経営同友会 渡辺会長



学校法人東京電機大学
石塚理事長



東京電機大学
射場本学長



東京電機大学学生支援センター
五十嵐センター長



(一社)東京電機大学校友会
上西理事長



編集後記

元旦から能登半島地震、羽田での事故と悲惨な出来事から始まった令和6年。被災された方々に心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。新しい年度が明日から始まります。リスタートで前を向いて日本が、世界が元気になってほしいものです。本会も会員の皆様と共に新しい事にチャレンジして行きたいと思えます。ご意見を頂ければ幸いです。私事ですが、昨秋、消防功労にて黄綬褒章を頂きました。この場をお借りして皆様に感謝申し上げます。 (企画運営委員会: 市川)